

えんがわ通信



第25号 2014年1月
 発行＊一般社団法人パーソナルサポートセンター
 住所／仙台市青葉区二日町6-6シャボンール青葉2階
 電話／022-399-9662 FAX／022-224-1621
 MAIL／contact@personal-support.org
 WEB／http://www.personal-support.org/

ケーキ、餅つき、年賀状・・・ 各地で年末イベント盛り上がる

スナップ



① ビンゴ大会を楽しむ参加者
 ② 会場にはパソコンで作ったクリスマスカードの展示
 ③ 小松菜を使ったシフォンケーキ。色鮮やかな緑がクリスマスに彩を添えた(いずれも青葉区二日町の「わあくしよっぷ」で撮影)

ケーキづくり、ビンゴ、餅つき・・・パーソナルサポートセンターや仮設住宅など仙台市内各地で昨年末、さまざまなイベントが行われた。それぞれの会場で参加者の笑顔があふれた。イベントの一部を紹介する。

青葉区二日町の「わあくしよっぷ」で2月25日にあった「クリスマス会」。参加者はビンゴ大会や、PSCの農場で採れた小松菜を使ったシフォンケーキを楽しんだ。

ビンゴ大会では、数字がそろ

あふれる笑顔で絆深める



④ みんなでケーキを作った扇町4丁目の子ども会クリスマス会
 ⑤ 松ぼっくりで作ったクリスマスツリー＝三神峯
 ⑥ 子どもたちが楽しんだアスイク主催のクリスマス会＝扇町1丁目
 ⑦ 青空のもと、一心に杵を振るう仮設住宅の入居者＝川内

うと、参加者は大はしゃぎ。優勝者は、PSCスタッフお手製のメダルを手にし、笑顔を見せた。

市内の仮設住宅でも、さまざまなイベントで盛り上がった。青葉区川内の仮設住宅では青空のもと「餅つき」で汗を流し、

宮城野区扇町1、4丁目仮設住宅では子どもたちがケーキ作りなどに励んだ。

太白区三神峯では、ちぎり絵で年賀状やクリスマスツリーづくりなどを行い、参加者は思いの年末を過ごしていた。

Interview



経験や資格を問わず、
 実習を通じて
 福祉の仕事の魅力を
 知ってもらいたい。

東北福祉会 せんだんの杜
 実習相談課長
 吉田 喜代美 さん

高年齢者福祉施設「せんだんの杜」(青葉区)が昨年12月、PSCの職業体験の実習生を受け入れました。介護現場での実習に加えて、福祉の基礎を学ぶプログラムを実施。実習生は、「とても勉強になった」と話しています。同施設の実習相談課の吉田喜代美課長に、受け入れの経緯などについて話を伺いました。

「福祉の仕事は大変そう」とイメージする方も多いと思いますが、学べることも多く、やりがいのある仕事です。(今回の実習生にとどまらず)これから、たくさんの方に福祉の魅力を知っていただく機会につながれば、うれしいですね。

「実習生を受け入れてみてどうでしたか。スタッフとのやり取り

の中で、実習生が疑問や心配事を抱えたまま、言い出せないでいることがあります。

そこで、普段の声がけ以外に、(受け入れ)期間の中間に、振り返りの時間を設けました。実習生が感じている不安や疑問などを話してもらい、職員がアドバイスする場にしたと考えるためです。

その結果、実習生からは「わからないことを聞いてもいいんだ」「介護技術を教えてもらうために、時間を割いてもらえた」との意見をいただくなど、好評でした。

「実習プログラムの中に座学の時間を取り入れていただき、実習生からとても勉強になったと報告がありました。

社会人を対象とした体験実習では、今回が初めての試みでした。

将来、(高年齢者施設などで)働く場合、仕事に対する心構えや、認知症介護、感染症対策などの知識を身につけることが必要になります。

「今後の実習生の受け入れについてはいかがでしょうか。」

「経験や資格はないけれど、興味がある」という方でも、気軽に相談していただければと思います。

「えんがわ」3月末閉鎖
 太白区あすと長町のコミュニティ・ワークサロン「えんがわ」が3月末で閉鎖されることとなった。

同施設は2011年10月、隣接する仮設グループホーム「なつぎ埜」の集会所を活用しオープン。これまで封入作業をはじめとする、さまざまなプロジェクトが行われたが、「なつぎ埜」の閉鎖・移転に伴い、「えんがわ」も閉鎖されることになった。

食品加工体験参加者募集
 宮城大食産業学部は2月27日、同大太白キャンパスで開く食品加工体験の参加者を募集する。午後1時から、同食品加工棟で味噌づくりを実施。3月17日には園芸体験を行う。連絡先は電話022(245)1282またはFAX(同)1534、メール morimoto@myu.ac.jp 森本素子教授まで。

農業体験記

先日、収穫した大根は、小ぶりでしたが、PSCで行われた封入作業の会場で販売すると、あっという間に完売しました。さらに、昨年末にあったクリスマス会では、小松菜を使ったシフォンケーキが好評でした。できたてのケーキをおいしそうにほおばる姿を見て、頑張ろうという気持ちを新たにしたいのでした。



「新たな輪つくりたい」
 青葉区川内の仮設住宅で、2代目会長として自治会を運営しています。いろいろな行事を開催し、コミュニティ作りを励んでいます。大変ですが、みんなに喜んでもらえると嬉しいし、やりがいを感じています。

PSCの封入作業に参加したのは、いろんな人と話したいと思ったこと、そして、震災まで住んでいた南三陸町の人に会えれば、との思いでした。

ずっと仕事をしていなかったことに対するジレンマも解消されて、楽しく作業をすることができました。震災のことを思い出し、何も手につかない状態だっただけに、封入作業に参加できて、本当によかったです。



えんがわの輪

小瀬良けさ子さん(63)
 青葉区川内

TOPICS(2月)

パーソナルサポートセンター

封入手伝い 事前申込制: 締切 2/5

「復興定期便」(仙台市からのお知らせ)の封入作業の参加者を募集しています。

■日時: 2月19日(水)・20日(木)・21日(金)
9:15~12:00 / 13:00~15:45

■場所: 就労準備支援センター『わあくしょっぷ』
(宮城県仙台市青葉区二日町2-1)
キムラオフィスビル 7F

■謝礼: 2,000円相当の商品券

◎お申込み・お問い合わせ: パーソナルサポートセンター
TEL: 022-399-9662, 080-4426-9824
FAX: 022-224-1621

仙台友の会

お料理教室 事前申込制: 締切 2/7

料理教室を開きます。女性だけでなく、男性の方の参加も大歓迎です。

■日時: 2月12日(水) 10:00~11:30

■場所: 仙台友の家(仙台市太白区鹿野3丁目23-33)

■定員: 20人

■持ち物: エプロン、参加費2000円(実費)

運動着入れ作り 事前申込制: 締切 2/7

来年度、小学校に入学するお子さんをもつ保護者のみなさんを対象に、新学期に備えて、運動着入れを作ります。詳細はお問い合わせください。

■日時: 2014年2月15日(土)、3月1日(土) 10:00~14:00

■場所: 仙台友の家

■定員: 先着10人(1日10人限定・合計20人)

■材料: 布地(こちらで用意します※無料)、持参も可

◎お申込み・お問い合わせ: 仙台友の会 [担当: 藤田]
TEL: 022-308-5009 / 090-6688-7073
※受付時間: 火・金の10時~15時

仙台市産業振興事業団

就職や仕事に関する個別相談 事前申込制: 締切 2/11

プロのコウンセラーによる就職や進路・キャリアに関する個別相談です。(就職のあっせんではありません)

■日時: 2月18日(火) 10:00~18:00(一人50分)

■場所: AER6階 情報・産業プラザ

■対象: ①学生・求職中の方(年齢不問)

②在職者(30代まで) [定員: 20人]

◎申込方法: 郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・学生/求職中/在職中のいずれかを記入し、郵便・FAX・Eメールでお申込みください。締切後に応募者全員に決定通知書をお送りします。

◎お申込み・お問い合わせ: 仙台市産業振興事業団
〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階
TEL: 022-724-1212, FAX: 022-715-8205
Eメール: koyoushien@siip.city.sendai.jp

のびすく仙台

フレパママ講座「たまごサロン」2/1~申込開始

これからパパになる方の沐浴体験や妊婦体験など。助産師さんと一緒にお話しませんか?

■日時: 2月9日(日) 10:00~11:30

■講師: 菊地 明子さん(仙台青葉学院短期大学講師)

■対象: 初めてパパママになる方

■定員: 8組

おしゃべりサロン「ママたちの同級会 その2」2/5~申込開始

子どもの話もいいけど、たまには自分のことも話してみませんか?同世代のママ同士でいっぱいおしゃべりしましょう。

■日時: 2月20日(木) 10:00~11:30

■対象: 35歳以上で、初めてママになった方

■定員: 15人(子どもと一緒に可)

※前回参加された方はご遠慮ください

◎お申込み・お問い合わせ: のびすく仙台
TEL: 022-726-6181, FAX: 022-214-5071

えんがわ通信 求人情報

就労支援相談センター「わっくわあく」(PSC就労支援部)と提携する特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」が、求人情報をお届けします。
※特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」無料職業紹介事業(許可番号04-ム-300010)

契約社員 福祉関連

名取市(※青葉区・若林区の施設でも募集)

デイサービス・訪問介護業務全般
給 与/132,000円~160,000円
+資格手当、通勤手当(上限有)
勤務時間/デイサービス担当...
8:00~17:30(休憩時間90分)
訪問介護担当...
8:45~17:45(休憩時間60分)
※時間外あり(月平均10時間程度)
休日・休暇/シフト制(4週8休)
加入保険/雇用・労災・健康・厚生
免許・資格/初任者研修(ヘルパー2級)以上
普通自動車免許(AT限定可)

株式会社 バイタルケア

正社員以外 サービススタッフ 青葉区錦町

会議・宴会・婚礼の会場セッティング、接客、片づけ等の作業
給 与/時間給750円
+通勤手当(上限有)
勤務時間/10:00~22:00の間の8時間、
休憩時間60分
※時間外あり(月平均5時間程度)
休日・休暇/シフト制
加入保険/雇用・労災
免許・資格/高卒以上

公立共済 ホテル白萩

正社員 車両引取・運搬

宮城野区鶴ヶ谷

車両の運搬、部品の洗浄・磨き作業
給 与/148,000円~169,000円
+資格手当、精勤手当、家族手当、
通勤手当(上限有)※賞与あり
勤務時間/8:30~17:30
休憩時間90分
※時間外あり(月平均11時間程度)
休日・休暇/週休二日
加入保険/雇用・労災・健康・厚生
免許・資格/不問(整備経験者優遇)

有限会社 泉自動車解体

パート ホールスタッフ 青葉区二日町

焼肉店での接客・調理・盛り付け・清掃等の業務
給 与/時間給750円~850円
+通勤手当(上限有)
勤務時間/17:00~22:00の間の4時間、
休憩時間なし
休日・休暇/シフト制
加入保険/労災
免許・資格/不問

株式会社 学生社ホールディングス

契約社員 オペレーター業務

遠田郡美里町

コールセンターオペレーター(宿泊施設・コンサート・保険業務などの電話対応)
給 与/140,000円
+通勤手当(上限有)
勤務時間/8:00~22:00の間の8時間
(応相談)、休憩時間60分
※研修期間は9:00~18:00
休日・休暇/シフト制(※研修期間は土・日休み、
年間休日108日)
加入保険/雇用・労災・健康・厚生
免許・資格/不問
※緊急雇用対策募集求人(被災求職者対象)

株式会社 みやぎ美里コールセンター

正社員 不動産仲介営業 青葉区錦町

不動産売買・賃貸の仲介・管理、店舗営業、現場での物件案内
給 与/180,000円~220,000円
+通勤手当(上限有)※賞与あり
勤務時間/平日8:30~18:00、土曜日9:00~
17:00、休憩時間90分、
※時間外あり(月平均10時間)
休日・休暇/週休二日・土曜隔週
その他状況に応じ休日
加入保険/雇用・労災・健康・厚生
免許・資格/普通自動車免許(AT限定可)

マックスホーム株式会社

※求人募集が終了している場合がございますので、あらかじめご了承ください。※ほかに求人があります。

求人に関する問い合わせ ▶ ワンファミリー仙台 求人担当 022-395-6364

就職についてのご相談 ▶ 就労支援相談センター「わっくわあく」022-395-6323

生活困窮者支援を考える シンポジウムを開催

みやぎ生協が主催の生活困窮者支援を考えるシンポジウムが12月7日、青葉区のTKCガーデンシティ仙台であり、約90人が支援のあり方について、理解を深めた。

まずほ情報総研の藤森克彦

優れた支援活動を表彰 第1回いがす大賞

東日本大震災の被災地で優れた支援に取り組む個人や団体を表彰する「第1回いがす大賞」の最終選考会が12月21日、市太白区文化センターであり、名取市の高橋久子さんが特別賞に選ばれた。

この日は、予選を通過した15団体・個人が活動内容を発表。そのうち高橋さんは、津波で壊滅的な被害を受けた名取市閑上地区の歌や、支援者に贈った「ありがとう」の詩などを披露。訪れた多くの市民の心を打った。

高橋さん以外には、郷土のサケ料理の味を再現し、地域住民に振舞っている「二本松

氏が講演で登壇し、先月国会で成立した生活困窮者自立支援法について考えを述べた。

その中で、藤森氏は「生活保護を受けるには、(預貯金がゼロであるなど)丸裸になる必要があり、一歩手前の支援が必要だった」と法律が成立した背景について説明した上で、「地域のキーパーソン

「えんがわ」のつばやき 日本一の記憶

市建設技術学院跡地 仮設住宅(福島県二本松市)が最高賞の「いがす大賞」に輝いたほか、「あの日あの時甚句つたえ隊」(岩手県釜石市)が準大賞、「ぐるーぶなか」(兵庫県宝塚市)が活動提案賞を受賞した。

いがすは、「いいね」などを意味する東北の方言。被災者支援をする個人・団体の交流と活動の活性化を狙いに、表彰は全国コミュニケーションライフサポートセンターが今回、初めて開いた。

最近のスポーツ界で、記憶に残ること聞かれれば、多くの人がこのチームを上げるだろう。球団設立から、9年目で初の日本一を手にした東北楽天ゴールデンイーグルスのことだ。

11月3日、楽天koboスタジアム(旧略称・Kスタ宮城)となりの陸上競技場で行われたパブリックビューイングに足を運んだ時折、激しい雨が降りしきる中、9回に田中投手が登板。まもなく優勝が決まると、大勢の人の歓喜に包まれた。テレビでその瞬間を見た人も少なくないだろう。仙台市中心部で行われた優勝パレードでは、21万4000人が道を進め尽くし、苦難を乗り越えて、頂点に立ったナインの活躍を祝福した。

優勝は何と言っても、連勝記録を塗り替えた田中投手の功績が大きい。しかし、被災地で育った銀次選手らの活躍も、いつも以上に目立った気がする。

振り返れば、球団ができた時、シーズンの最終成績は38勝97敗1分だった。首位ソフトバンクとは50ゲーム以上の差。頂点を手にする日を誰が想像できただろうか。

東北高校出身の斎藤隆投手は報告会で「スポーツ選手はスポーツでしか心を癒やせない。少しでも皆さんの力になりたいと思ってプレーした」と話した。監督を含め、チーム一丸で、被災地を元気にしたいと頑張った結果だったのかもしれない。その姿に、勇気づけられたファンも少なくないだろう。

田中投手らの移籍の可能性が高く、来シーズンは少しさびしくなるが、「魂」あふれるプレーは来シーズンも変わることがないと期待したい。